

よねさとづくり通信 No.138

よねさとづくり協議会
令和3年8月1日発行

研修会「防災と福祉で米里の地域づくり」

6月26日（土）、自治会・よねさとづくり協議会全体会が開催されました。上半期の取り組み状況が報告された後、10月下旬開催予定の米里まつりのあり方、「支え愛」「流域治水」「共助交通」など当面の課題への取り組みについて協議を行いました。

全体会の後、現在進めている取り組みに活かそうと、鳥取県自主防災活動アドバイザーの森本智喜（さとき）さんをお招きし、お話を伺いました。

2000年の鳥取県西部地震を契機に、日野町内を拠点にして、災害復興活動、地域での見守り活動、居場所づくり活動など行われていますが、被災現場だけでなく、平常時の活動をする中で感じられていることを伝えていただきました。

ここがポイント

- 災害時の集落のありようは、まちの幸福度の一つのバロメーター。
- 「災害＝大規模自然災害」とは限らない。身の回りにある「災害」は、自然災害、事件、事故などさまざま。
- 長年暮らしている集落でも意外と知らないことも知らない人も多いことから、県内でも「支え愛」の取り組みが進んでいる。
- 個人情報保護法の目的は、「情報をしまい込んでおいて出さない」ではなく、「適切に管理して活用しましょう」。
- 「災害に強い地域」とは、「災害にも強い地域」。
- 米里地区の「普段」が大規模災害時の米里地区を左右する。



参加されたかたの感想

支え愛マップを手作りする取り組みがあることを知りました。いざ災害が起きた時の備えとなるものです。地域性や個々の考え方は様々ありますが、それぞれの役割を分担していくために年代を問わず日々の生活から地域の事に関わりを持つことが、今特に必要なのではないかと感じました。

(子ども会 北浦友美)

お話の内容は、いつ、どこで、どんな災害が起こるかもしれない今日、犠牲者を出さないようにするには、日ごろから地域や地域の方々のことをどれだけわかっているかが重要になるという趣旨だと理解しました。日頃より、地域や地域の方々に少しでも関心を持っていただくことが重要だと感じた次第です。

(民生児童委員協議会 岡田正行)



記録的大雨への対応を検証

7月10日（土）、各自主防災会の代表者、防災リーダーに、消防分団長、地区自治会長、公民館長も参加し、自主防災会連絡協議会拡大会議が開催されました。

前日までの記録的な大雨により、米里地区でも大路川の水量が急激に増え、避難情報（高齢者等避難）も発せられたり、人的被害はなかったものの地区内での被害も報告されていたことから、当初予定していた内容を変更し、地区内の状況や今後に向けた対応方針等を話し合いました。

7月8日夕方 小学校前の大路川の様子



学校玄関前には排水できない水があふれ、土のうを積みました

2年ぶりのバドミントン大会



昨年来1年余り、全ての体育会行事の中止を余儀なくされましたが、6月20日に待望の地区行事としてバドミントン大会を2年ぶりに再開することができました。検温・消毒・換気はもとより、開会式の省略や他チーム応援の禁止、時間短縮に向けた変則ルールなど、運営に知恵を絞り、地区体育委員をはじめ体育会一丸で皆さんに安全に楽しんでいただけるよう努めました。

自粛ムードが漂う中、参加があるのか大変気掛かりでしたが6チームに参加いただきました。これまでに比べ、やや歓声に乏しかったものの、いざ始めると、多彩で笑顔あふれる熱戦が繰り広げられました。盛会裏に幕を閉じることができ、やってよかったと役員一同が感じています。

日常に戻るにはまだまだ時間はかかりますが、米里体育会としては、「コロナに負けるな」を胸に、これからも地区の皆様へ「笑顔でいい汗がかけただける」行事をどんどん企画していきますので、積極的な参加をよろしくお願いします。

(体育会長 山根寿彦)

【大会結果】優勝：東雲山 準優勝：西大路 第3位：古郡家、中大路

青少年育成協議会では

7月3日（土）、第1回運営委員会が開催され、本年度の取り組みについて確認しました。

- ・夏休み明けの挨拶運動を実施。
- ・夏休み中の地区委員と小中PTA役員による夜間パトロールを実施。
- ・第2回米里かるたウオークは、10月10日（日）の実施に向け、近く第1回実行委員会を開催。
- ・米里まつりでかるたウオークの実施の様子などを紹介。

敬老会開催の中止について

コロナ感染症の収束が見られないため、残念ながら昨年に引き続き中止することといたしました。対象となられる方には記念品をお送りしたいと思っていますので楽しみにしてください。来年こそ敬老会を開催できることを願っています。

(社会福祉協議会長 山根幸子)